

# 全国でもユニークな保育園が開園 放課後々々、児童通所支援も併設

## 南東北こども学園

（一財）脳神経疾患研究所の「南東北こども学園」竣工・開園式は3月21日（火）、郡山市富久山町八山田の同園で行われ、関係者ら100人が完成を祝うとともに4月1日から正式に開園しました。

同学園は、子どもと高齢者、障がい者が、世代や障がいの垣根を取り払って触れ合える一体的な施設を目指した全国でもユニークで最大規模の施設。昨年5月から総工費約6億円をかけ荒牧建設（須賀川市）の請負で建設中でした。



テープカットする渡邊理事長（左から3人目）ら

明るい交流スペースで開園を祝う関係者ら



園舎は木造平屋建て（準耐火構造・建築面積約1700㎡）で、ゼロ歳児から5歳児までを保育する保育室6室はじめ病気の幼児を預かる病児保育室や夜間保育室、遊戯室、地域交流スペースなどを完備しています。保育の定員は200人で24時間運営します。



園内で遊ぶ子どもたち

す。また放課後の児童約40人が遊んだり、学習ができる放課後クラブ、デイケアで受け

### 最近 よく聞く言葉

人は加齢とともに体の機能や活動量がだんだん低下し、便秘や下痢を起こしたり、感染症のリスクが高まったりする傾向が強まります。健康を保ち、QOL（生活の質）を高めるためにはお腹の健康維持が大切で「プロバイオティクス」が注目されています。

プロバイオティクスのプロ（pro）は「前へ進む」の意で前向きな細菌利用を意味します。一言でいえば腸内環境を整え、健康維持などに良

入れる児童通所支援事業所も併設しています。

同学園西北にある南東北グループの南東北福祉センター八山田には、2年前に特別養護老人ホーム（70床）と知的障がい者就労支援施設を開設しており、同学園の完成によって高齢者や障がい者と乳幼児との交流が深まると期待されています。

竣工・開園式は、あいにくの雨のため児童発達支援センターで神事をおこなった後、遊戯室に移り渡邊一夫理事長や窪睦子園長はじめ来賓など関係者12人がテープカットしてオーブンしました。

い作用をもたらす微生物、またはそれらを含む製品や食品のことです。その代表が腸内善玉菌の乳酸菌やビフィズス菌で、ヨーグルトや乳酸飲料として利用されています。

腸内細菌の研究が進み、腸内の細菌バランスを善玉菌

## プロバイオティクス

優位にすることが健康に重要であることも分かってきました。急増の大腸がんも腸内環境の悪化が原因の1つといわれます。乳児の腸内は善玉菌でいっぱいですが、成人から老年期に入ると減少し老化や生活習慣病の要因にな

続いて記念の直会が地域交流スペースで行われ、渡邊理事長が「働く人が安心して預けられる安全な保育環境が整いました。病児保育や学童保育も順次対応していきます」とあいさつしました。このあと増子輝彦参議院議員、根本匠衆議院議員、品川萬里郡山市長らが祝辞を述べ、事業所内保育の新しいモデルの同学園の門出を祝福しました。

同学園は4月からとりあえず職員たちの子どもたち65人を預かってスタート。本院以外で希望があれば近隣のグループ施設で働く職員たちにも枠を広げていく予定です。

ります。

食生活の欧米化で脂肪分が多い肉食が増え腸の老化が若年化しているそうです。便が腸内に長時間留まると悪玉菌により腐敗、それが進むと発がん物質を作りだすこともあるといわれます。ストレスも自律神経の働きを乱し免疫機能の低下につながります。

これらの予防・改善に役立つのがプロバイオティクスで、腸整作用のほか肥満解消などの働きがあることも分かっています。更に効果を上げるには善玉菌の餌である食物繊維やオリゴ糖と一緒に摂ることが大事とされます。